

1. 区民会議の位置づけと活動の目的

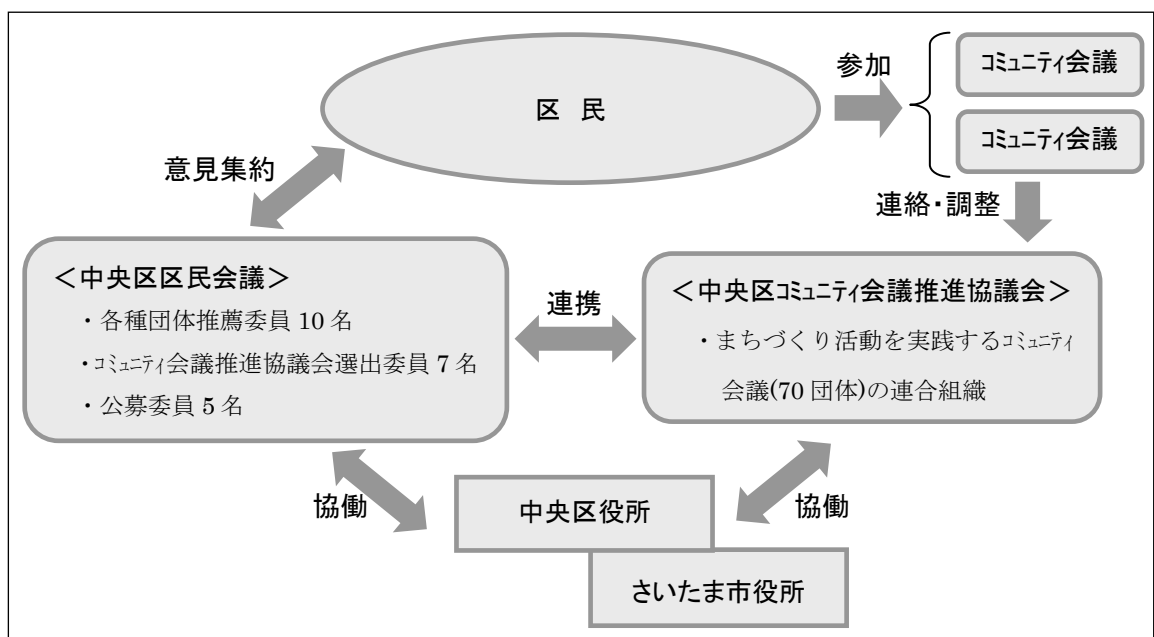
さいたま市は、平成15年4月の政令指定都市移行に伴って、よりきめ細かく行政サービスを提供するため、市内を9つの行政区に分け、それぞれに区役所を設置しました。そして、この各区役所を窓口として区民に身近な区政を展開するとともに、区民の声を直接反映し、区民自らが魅力あるまちづくりに参画できるよう、これら9つの行政区すべてで「区民会議」が設立されました。

区民会議は、次のような活動を行うことを目的としています。

- ① 市から提案された諸課題についての協議及び政策の提言
- ② 区民と行政の協働による魅力あるまちづくりのための活動
- ③ その他、区の健全な発展に寄与する活動

2. 中央区区民会議の構成と仕組み

中央区区民会議は、地域の各種団体からの推薦や公募で選ばれた22名の委員から成り、その仕組みは以下のとおりです。なお、「中央区コミュニティ会議推進協議会」は旧与野市の「コミュニティ協議会」を改組した組織であり、中央区独自のものです。



3. 第一期中央区区民会議の活動の目標と運営方針

第一期中央区区民会議では、以下のように活動の目標と運営方針を設定しました。

目 標：今期の活動が終了する2年後（平成17年3月）を目途として、優先順位をつけた提案を行う（ただし、検討の進展に合わせ、柔軟に取り組む）

運営方針：「“PLAN～DO～CHECK”のサイクルに基づいた運営」

- ① 区をめぐる現状の確認（CHECK）
- ② 現状認識に基づいた計画（優先順位を踏まえた提案）の作成（PLAN）
- ③ 行政との協働による計画の具体化（DO）
- ④ 計画の進捗状況に応じた成果の確認（CHECK）
⇒ 計画見直しへの反映（PLAN）

※ 今後の区民会議を通じて、このPDCの流れの継続的な循環を目指す

4. 第一期中央区区民会議の活動の流れ

第一期中央区区民会議では、会議を円滑に、かつ計画的に運営できるよう、全体会の設営準備を行う幹事会を設置しました。

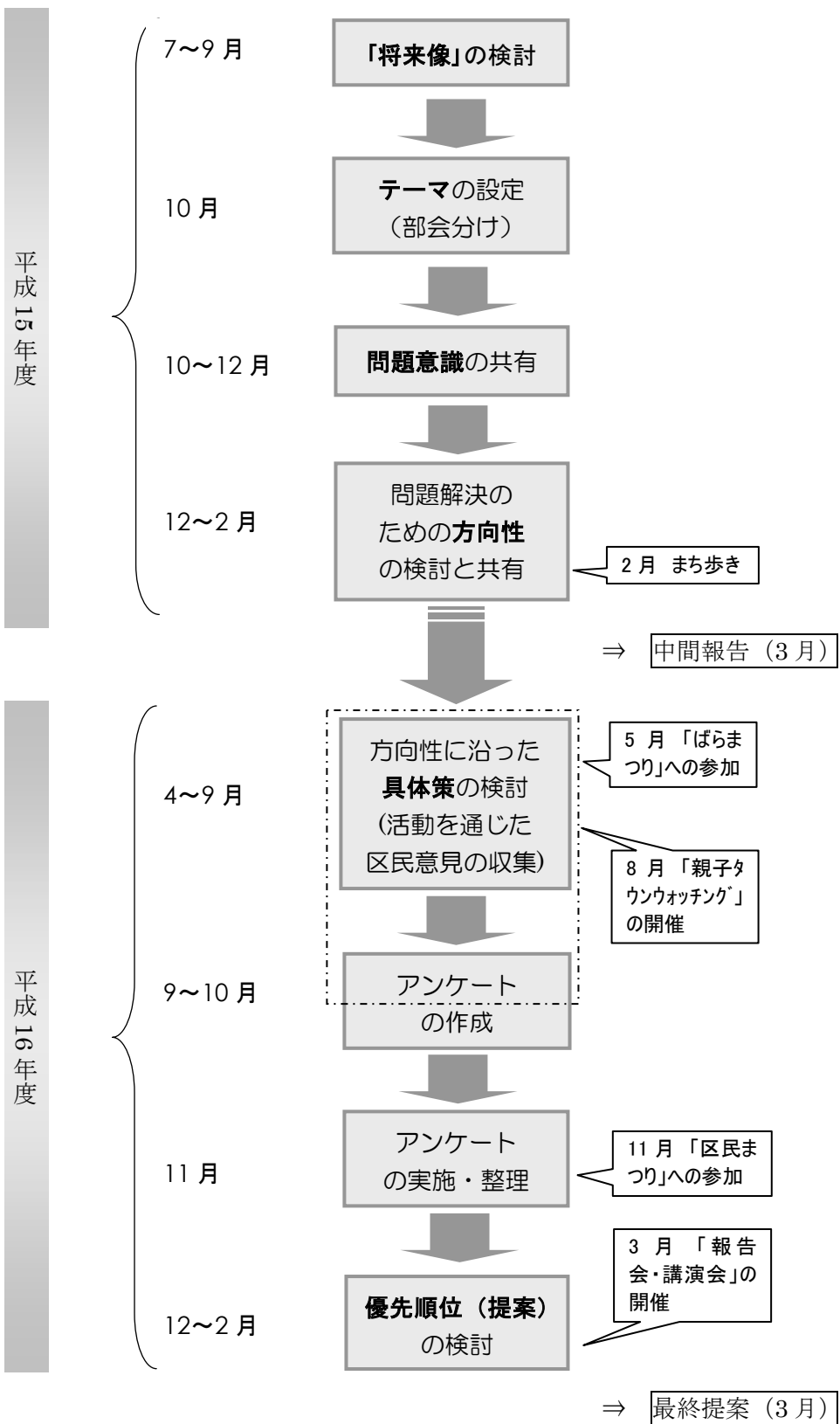
また、区民会議で検討すべきまちづくりの課題は広範囲にわたるため、検討をより効率的・効果的に進められるよう、「中央区の将来像」にある「まちづくりのポイント」を基本として、3部会を編成しました（部会構成は以下のとおり）。なお、この部会は、検討の進展に伴い、必要に応じて柔軟に編成替えもあり得るものとししました。

幹事は各部会に分かれて参加し、その進行の運営または補助を行い、区民会議全体会前の幹事会で結果を報告するものとししました。

<部会構成>

- ① 「みんなでまちづくり」部会：環境、コミュニティ・協働
- ② 「にぎわい」部会：にぎわいづくり、人づくり
- ③ 「かけはし」部会：福祉、安全な生活

< 第一期中央区区民会議の活動の流れ >



5. 第一期中央区区民会議の活動経過

	会 議	内 容
7月	第1回全体会 (7月13日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 委員自己紹介(中央区への思い、区民会議への期待等) ▶ 会長・副会長選出 ▶ さいたま市総合振興計画「中央区の将来像」及び平成15年度まちづくり推進事業費の説明
8月	第2回全体会 (8月9日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ さいたま市総合振興計画「中央区の将来像」の検討
9月	第3回全体会 (9月4日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ さいたま市総合振興計画「中央区の将来像」の検討 ▶ 平成16年度まちづくり推進事業費の検討
10月	第4回全体会 (10月10日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成16年度まちづくり推進事業費の検討 ▶ 岩槻市との合併問題の説明 ▶ 部会の立ち上げ
	第1回「みんなでまちづくり」部会 (10月24日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「環境」と「コミュニティ・協働」についての現況と課題の検討
11月	第5回全体会 (11月6日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 岩槻市との合併問題の検討 ▶ 第1回部会報告①
	第1回「にぎわい」部会 (11月10日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「にぎわいづくり」と「人づくり」についての現況と課題の検討
	第1回「かけはし」部会 (11月11日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「福祉」と「安全な生活」についての現況と課題の検討
	第6回全体会 (11月24日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第1回部会報告② ▶ “まち歩き”準備
1月	(幹事会のみ)	
2月	まち歩き (2月1日)	(全体会扱い)
	第2回「にぎわい」部会 (2月12日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「にぎわいづくり」と「人づくり」についての重要な方向性と具体的なアイデアの検討
	第2回「みんなでまちづくり」部会 (2月24日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「環境」と「コミュニティ・協働」についての重要な方向性と具体的なアイデアの検討
	第2回「かけはし」部会 (2月25日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「福祉」と「安全な生活」についての重要な方向性と具体的なアイデアの検討
3月	第7回全体会 (3月12日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「緑の基本計画」についての説明 ▶ “まち歩き”のまとめ ▶ 今年度のまとめ及び今後の進め方の検討

	会 議	内 容
4月	第8回全体会 (4月9日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成16年度まちづくり推進事業費の説明 ▶ 平成15年度活動報告書(案)についての説明 ▶ 平成16年度活動計画の検討(全体及び部会別)
	「にぎわい」部会 (4月25日)	▶ 今年度の進め方について
	「みんなでまちづくり」部会 (4月28日)	▶ 今年度の進め方について
5月	「かけはし」部会 (5月11日)	▶ 今年度の進め方について
	「みんなでまちづくり」部会 (5月12日)	▶ 「中央区の緑」のパネル展示準備
	ばらまつり (5月15・16日)	▶ 「中央区の緑」のパネル展示
6月	「にぎわい」部会 (6月9日)	▶ 親子タウンウォッチング(TW)について
	第9回全体会 (6月11日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 報告会について ▶ 平成16年度の活動内容について(全体及び部会別)
	「にぎわい」部会 (6月15日)	▶ 親子TWについて
	「にぎわい」部会 (6月28日)	▶ 親子TWについて
7月	「みんなでまちづくり」部会 (7月7日)	▶ 親子TW(新都心)について
	「にぎわい」部会 (7月8日)	▶ 親子TWについて
	「かけはし」部会 (7月14日)	▶ 親子TW(特養“きりしき”)について
	「にぎわい」部会 (7月21日)	▶ 親子TWについて
8月	親子タウンウォッチング (8月8日)	(全体会扱い)
	「かけはし」部会 (8月31日)	▶ 今後の部会活動について(中央区区民まつり)
9月	「かけはし」部会 (9月14日)	▶ 区民まつりについて
	「にぎわい」部会 (9月25日)	▶ 区民まつりについて

	会 議	内 容
10月	第10回全体会 (10月8日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶全体スケジュールについて ▶区民まつりについて ▶区民まちづくりアンケートについて
	「にぎわい」部会 (10月25日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶区民まつりについて
	「かけはし」部会 (10月28日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶区民まつりについて
11月	中央区民まつり (11月13・14日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶高齢・障害疑似体験 ▶区民会議活動PR(緑のパネル、親子TW 壁新聞等)
12月	第11回全体会 (12月5日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶報告会について ▶今後のとりまとめについて
	「みんなでまちづくり」部会 (12月15日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶部会提案について
	「かけはし」「にぎわい」部会 (12月21日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶部会提案について
1月	「みんなでまちづくり」部会 (1月13日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶部会提案について
	「にぎわい」部会 (1月21日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶部会提案について ▶報告会について
2月	第12回全体会 (2月4日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶第1期中央区区民会議報告書について ▶報告会について
	「かけはし」部会 (2月15日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶部会提案について
	「にぎわい」部会 (2月18日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶部会提案について ▶報告会について
3月	報告会 (3月13日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶第1期中央区区民会議報告 ▶福田正博氏講演会 (終了後、第1期中央区区民会議の総括)

6. 平成 15 年度の主な取組み

(1) さいたま市総合振興計画「中央区の将来像」の検討

各区の将来像は、さいたま市の最上位計画として平成 16 年 4 月に発効した「総合振興計画」に位置づけられ、各区の特性や目指すべき将来像、今後のまちづくりのポイントをとりまとめたものであり、区民と行政の共通のまちづくりの目標となるものです。

区民会議では、平成 14 年度さいたま市総合振興計画地区別市民懇話会からの提案を基にした“たたき台”に対して意見を述べ、区民会議としての素案を作成しました。この素案は、総合振興計画審議会を経て、正式に中央区の将来像として決定されました。

これを基に部会編成を行い、提案の検討に向けた意見の整理や具体的な活動を行いました。

【中央区の将来像】

新しい都市文化の創造と交流が育てる安心な暮らし

中央区には、古くから引き継いできた歴史と文化の薫る街並みと家族のような人々の深いつながりがあります。その従来からの良い面を守りながら、さいたま新都心を中心とする新しい都市の魅力を加え、“美しいまち”“美しい心があふれるまち”を創り、次の世代に伝えていくため、人々が積極的に発言し、主体的に行動するまちを目指します。

【まちづくりのポイント】

1 緑豊かな環境づくり

- 公園や屋敷林、農地などのまとまった緑の保全・充実、そうした緑の拠点を川や道を利用してつなぐ緑のネットワークの形成
- 人々の意識・モラルの向上により、ごみの減量化やリサイクル、省エネルギーによる環境と共生できる循環型社会の形成

2 地域資源を活かしたにぎわいづくり

- 街並みや緑、歴史・文化などの古くからある資源とさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場などの新しい資源を活かした、古いものと新しいものの調和

- さいたま新都心の諸機能の活用による魅力ある地域の実現
- 駅周辺の未利用地や道路空間などを有効活用した、人々の集まる新たな空間の形成と既存の商店街の活性化

3 地域に誇りと愛着を持つ人づくり

- 明日を担う心身ともに健全な子どもたちの育成と地域の特性を活かした教育の推進
- 地域の伝統・文化や人材を活用した生涯学習や人づくりの実践

4 みんなで互いに支え合う安心な生活づくり

- 地域で安心して子どもを育てられる体制の整備
- 地域福祉の充実による高齢者や障害者の安心で生き生きとした暮らしの確保

5 区民の意見に基づく地域に根ざしたまちづくり

- 区民の自主的な活動と連携の積極的な支援によるコミュニティの充実
- 区民と行政の協働の仕組みづくりと協働の実践の機会の創出
- 地域に根ざした従来のきめ細かいサービスの維持・向上と他区との連携による新しいサービスの展開

(2) 中央区まち歩き

中央区の現状と課題について、「まちづくりのポイント」として掲げた5つの視点から、部会に分かれて意見を交換した結果、このまちで暮らした時間や生活の仕方の違いなどから実際にはよく知らないことや場所があることが明らかになったため、改めて自分たちのまちを見て周ってみることにしました。

自分たちで気になるポイントを選び、それぞれの記憶の中のイメージを現場の状況を見て再確認するとともに、行動範囲や関心の異なる人が意見交換をしながら一緒に現場を見ることによって、よく知っているはずなのに知らなかったことやまったく気付かなかったことを発見することができました。

参加メンバーがまちに対する問題意識を共有することができた、この取組みは平成16年度の「親子タウンウォッチング」につながりました。



(3) 部会ごとの現況・課題の把握（具体的なアイデアの整理）

平成 15 年度の活動の整理として、さいたま市総合振興計画「中央区の将来像」の「まちづくりのポイント」に沿って、部会ごとのワークショップやまち歩きなどで出された意見を“課題”、“解決の方向性”、“具体的なアイデア”に分類しました。このまとめが平成 16 年度の「区民まちづくりアンケート」の原案になりました。

区の将来像 まちづくりのポイント1：緑豊かな環境づくり

- 公園や屋敷林、農地などのまとまった緑の保全・充実、そうした緑の拠点を川や道を利用してつなぐ緑のネットワークの形成
- 人々の意識・モラルの向上を通じた、ごみの減量やリサイクル、省エネルギーによる環境と共生できる循環型社会の形成

テーマ	小テーマ	課題	解決の方向性	具体的なアイデア	優先順位 (実現のタリシ)	備考	
「緑豊かな環境づくり」	緑のネットワークの形成	地域資源としての川を活かしていない	岸边を歩けるようにする	・川岸に遊歩道をつくる		※「鴻沼川多自然型川づくり整備構想」要確認	
			市民主体で保全し、多自然的な川づくりを行う	・四季の花を植える ・ピオトープをつくる ・用水の護岸整備を行う		NPO(こうぬま・水と緑を楽しむ会など)と連携して、区民会議で可能か。	
		緑が減っている	緑の現況についてよく知る	区内の緑を皆で巡回する(楽しい活動で区民の関心を高める)	・区内の緑を皆で巡回する(楽しい活動で区民の関心を高める)		来年度、区民会議で可能か。
				春や夏にまち歩きをする	・春や夏にまち歩きをする		来年度、区民会議で可能か。
			緑を残す	・計画的に緑を保存する ・円阿弥の竹林など、屋敷林を残す ・大かややもっこくなどを大切に保護し、PRする ・保全するときの支援策を充実する(まず事例調査する) ・「区民会議指定の木(花)」を募集する ・原っぱを復活する ・円乗寺でボタン祭りなどを開く		※「緑の基本計画」策定中	
		緑を増やす	緑を増やす	駅前緑を増やす	・駅前に緑を増やす		
				ケヤキ広場以外に区民が憩える広場を増やす	・ケヤキ広場以外に区民が憩える広場を増やす		
				高速道路の上部に緑を植える	・高速道路の上部に緑を植える		(まとまった緑)
				与野公園にバラ以外に1年を通じて楽しめる草花を植える	・与野公園にバラ以外に1年を通じて楽しめる草花を植える		(市民の協力による緑)
				学校や周辺住民の協力により、与野本町駅から芸術劇場への道沿いの緑を広げる	・学校や周辺住民の協力により、与野本町駅から芸術劇場への道沿いの緑を広げる		(市民の協力による緑)
	与野中央公園で近隣の梅林とつなげた整備を行う			・与野中央公園で近隣の梅林とつなげた整備を行う		(まとまった緑)	
	与野中央公園で子どものためのピオトープをつくる			・与野中央公園で子どものためのピオトープをつくる		(まとまった緑)	
	人工的な緑には、効果が現れない、あるいはマイナス効果がある場合がある	責任を持って、(無理なく)管理する	ケヤキ並木の清掃など、緑をコミュニティづくりに役立てる	・ケヤキ並木の清掃など、緑をコミュニティづくりに役立てる			
			街路樹は落ち葉の処理にも配慮して植える	・街路樹は落ち葉の処理にも配慮して植える			
			枯葉をリサイクルする	・枯葉をリサイクルする			
			交通安全に配慮する	・道路沿いや公園の生垣は低木にする(死角をつくらない) ・ケヤキの根で盛り上がった歩道を改修する			
			ビルやマンションの屋上緑化を進める	・ビルやマンションの屋上緑化を進める			
		ごみの分別方法のわかりやすいマニュアルをつくる	ごみ処理についてPRし、区民の意識を高める	コミュニティでの清掃活動や美化活動を行う	・コミュニティでの清掃活動や美化活動を行う		
				有料ごみ袋を復活する	・有料ごみ袋を復活する		
				ごみ処理やリサイクルの実態について、広く区民に知らせる	・ごみ処理やリサイクルの実態について、広く区民に知らせる		区民会議の施設見学で可能か。
ごみステーションの数や設置の仕方を充実する				・ごみステーションの数や設置の仕方を充実する			
自治会単位で大きな回収ボックスを常時設置する				・自治会単位で大きな回収ボックスを常時設置する			
ごみの回収方法が不十分である	ごみステーションを充実する	ごみネットを無料配布する	・ごみネットを無料配布する				
		ごみ収集の遅い場所があるので、夜中の収集も行う	・ごみ収集の遅い場所があるので、夜中の収集も行う				

区の将来像 まちづくりのポイント2：地域資源を活かしたにぎわいづくり

- 街並みや緑、歴史・文化などの古くからある資源とさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場などの新しい資源を活かした、古いものと新しいものの調和
- さいたま新都心の諸機能の活用による魅力ある地域の実現
- 駅周辺の未利用地や道路空間などを有効活用した、人々の集まる新たな空間の形成と既存の商店街の活性化

テーマ	小テーマ	課題	解決の方向性	具体的なアイデア	優先順位 (実現のタイミング)	備考	
「地域資源を活かしたにぎわいづくり」	古いものと新しいものの調和	区民が地域の文化資源について知らない	地域住民(特に新住民)に情報を提供する	・区民が参加できる“七福神巡り”や“氏神様巡り”を行う(区民会議メンバーがガイド役を)		来年度、区民会議で可能か。	
		地域の歴史が活かされていない	新八景や七福神など、古刹や神社を活用する	・与野公園にバラ以外に1年を通じて楽しめる草花を植え ・天祖神社を早期に再建する ・氷川神社を夏祭りと一緒にPR ・円乗院を畠山重忠ゆかりでPR ・竹林や大かや、もっこくなどを大切に保護し、PRする			
		蔵づくりの街並みを活用する	蔵や古民家を活用して、骨董通りをつくる/骨董市を開く				
		祭りや伝統行事を活用する	・ダルマ市を保存する				
		区内の名産品を活用する(つくる?)					
		歴史以外の特徴ある文化が見えにくい	若者を活用する	・ジャズフェスティバル、ストリートバンドや大道芸のイベントを開く			
	さいたま新都心の活用	中央区の“カルチャー”を発信する	・情報誌をつくる ・区内の駅に芸術劇場やスーパーアリーナなどのイベントスケジュールを掲示する ・区内のおいしいお店を発掘して、食べ歩きマップをつくる		今すぐできそう。	来年度、区民会議で可能か。	
		さいたま芸術劇場を活用する	・与野本町駅から芸術劇場へのアプローチで芸術の雰囲気をつくる ・中央区として、文化行事を開催する ・合唱団を結成する(芸術劇場で発表)		実現決定!		
		新都心と地域の生活がつながっていない(昼夜間の人口の差が激しい)	人が集まる中心をつくる	・保留地を有効に活用する(子どもの遊戯施設や映画館) ・タワー構想を実現させるための支援体制を検討する ・カジノ研究会を発足し、シンポジウム等を検討する ・人工的ではなく、憩える公園・広場を作る ・国際会議ができるように周辺整備をする			
		人が流れる仕掛けをつくる	・イベントを開く ・住民が行きやすいよう、駐輪場を整備する ・駅に時計やベンチ、土産物屋などを置いて、利便性を高める ・スーパーアリーナでのイベントの情報をわかりやすく提供する				
		区役所が混雑していて、利用しにくい	自動車での利用をしやすいとする	・駐車場を充実させる(有料化の検討など)			
		本町通りの商店街に活気がない	与野本町駅周辺を整備する	・武蔵浦和駅のように開発する ・駅前ロータリーに花や緑を増やす ・以前の「ドリームパザール」のような楽しいイベントを行う			
人々の集まる空間の形成	与野駅西口の再開発の効果が見えない	与野駅周辺の道路体系の利便性を高める					
		未利用地を有効活用する	・駅前再開発に合わせて駅舎を改築する ・西口のみでなく東口の再開発も ・建物の建築時には緑やベンチのあるミニ公園をセットする				
		駅前通りを活性化させる	・歩道でフリーマーケットを開く ・ここでしか手に入らない“売り物”をつくる				
	北与野駅周辺が不便である	交通利便性を高める	・北与野駅に通勤快速をとめる運動を検討する ・17号以外からも入れるように、周辺道路を整備する ・北口はバスターミナルなどの交通スペースに特化				
		違法駐輪・違法駐車を解消する	・パーキングメーターをつける				
		駅前のにぎわいを高める	・からくり時計の案内板(説明書き)をつくる ・南口は祭りやイベントの専用スペースに特化 ・ロータリーにステージをつくって野外コンサートやビアガーデンを開く ・ロータリー周辺にもっと花や木を植える				
	中央公園の整備イメージが明確でない	自然を増やす	・梅林が東にあるので、もっと増やす ・川を活用して、ピオトープをつくる				
		利便性を高める	・樹木などで日陰をつくる ・運動公園にして、総合型スポーツクラブを立ち上げる ・駐車場を整備する				
	高速道路の整備によって環境が変化している	高速道路の上部に整備される公園を活用する	・緑を沢山植えて、景観の向上と空気の清浄化を図る ・スポーツなども行える広場にする ・整備のアイデアを市民から募る			※中央区ではないが隣接	
		周辺の交通体系を整備する	・高齢者や障害者の交通に配慮する ・日本ビストン跡地の再開発において交通対策を行う				
	駅から離れていると交通が不便であり、また、他区との行き来もしにくい	交通システムを整える	・市内環状バスを整備する				

区の将来像 まちづくりのポイント3：地域に誇りと愛着を持つ人づくり

- 明日を担う心身ともに健全な子どもたちの育成と地域の特性を活かした教育の推進
- 地域の伝統・文化や人材を活用した生涯学習や人づくりの実践

テーマ	小テーマ	課題	解決の方向性	具体的なアイデア	優先順位 (実現のタイミング)	備考	
「地域に誇りと愛着を持つ人づくり」	地域ぐるみの子どもたちの育成	地域と学校の関わり合いが不足している	児童・生徒が地域活動に参加する機会を増やす	・夏祭りなどの地域の行事に児童・生徒が参加する			
				・児童・生徒が福祉施設を訪問する			
		学校で地域の特性を活かした教育を行う	親の世代への教育を行う	・児童・生徒のひとり暮らし老人とのふれあい会食を広げる			
				・声かけ運動を広げる			
				・地域でボランティア活動に関する学習機会を増やす			
	地域を活かした生涯学習や人づくり	住民(大人も)が地域のことを知らない	地域独自の文化や歴史についての理解を深める	・総合的な学習の時間に区民が参加する			
				・若者に地域の歴史や文化を伝える			
		地域に密着した青少年育成活動を行う	地域の一体感やアイデンティティを育てる	・公民館などの地域の施設を学校教育で活用する			
				・学校選択のため、誰もが学校を見学できる開放日を設ける			
				・ボランティア活動を通じて親子のふれあいを充実する			
新しい住民と従来からの住民の間の交流の機会が少ない	地域独自の文化や歴史についての理解を深める	地域の一体感やアイデンティティを育てる	・中央区エリアを担当する青少年育成担当部署を設置する				
			・区民が参加できる”七福神巡り”や”氏神様巡り”を行う(区民会議メンバーがガイド役)		来年度、区民会議で可能か。		
			・公民館などで、地域の人を活用したプログラムを行う				
			・中央公園で、川を活用して、ピオトープをつくる				
地域にどんな人材がいるのかよくわからない	地域独自の文化や歴史についての理解を深める	地域の一体感やアイデンティティを育てる	・中央区として、文化行事を開催する	実現決定！			
			・合唱団を結成する(芸術劇場で発表)				
			・中央公園を運動公園にして、総合型スポーツクラブを立ち上げる				
地域にどんな人材がいるのかよくわからない	地域独自の文化や歴史についての理解を深める	地域の一体感やアイデンティティを育てる	・既存の自治会などによる清掃活動に地域のマンション自治会にも参加してもらう				
			・活発に活動しているマンション自治会などと既存の地域活動をリンクさせる				
			・高校生や大学生が年下の子どもたちと触れ合える活動を行う				
地域にどんな人材がいるのかよくわからない	地域独自の文化や歴史についての理解を深める	地域の一体感やアイデンティティを育てる	・外国人との交流を行う				
			・インターネットや区報など、多様な媒体で情報を提供する				
			・ボランティアのコーディネータを育成する				
地域にどんな人材がいるのかよくわからない	地域独自の文化や歴史についての理解を深める	地域の一体感やアイデンティティを育てる	・地域にいる人材の発見・紹介を行う		来年度、区民会議で可能か。		

区の将来像 まちづくりのポイント4：みんなで互いに支え合う安心な生活づくり

- 地域で安心して子どもを育てられる体制の整備
- 地域福祉の充実による高齢者や障害者の安心で生き生きとした暮らしの確保

テーマ	小テーマ	課題	解決の方向性	具体的なアイデア	優先順位 (実現のタイミング)	備考		
「みんなで互いに支え合う安心な生活づくり」	安心な子育て体制づくり	家庭の教育力が弱まっている	親の世代への教育を行う	・ボランティア活動を通じて親子のふれあいを充実する ・家庭教育学級を充実する				
			子育てに関する情報をきめ細かく(わかりやすく)提供する	・情報ネットワークを構築する ・インターネットや区報など、多様な媒体で情報を提供する ・実際に会って情報交換ができる場所や機会をつくる ・中央区エリアを担当する青少年育成担当部署を設置する				
			父親の子育てを促進する	・地域の人材を活かした父親講座				
		少子化が進んでいる	子どもを産み育てやすい環境を整える	・子どもを産んだ人を補助する(“ごほうび”、特典) ・子育てを身近で助けてもらえる施設を充実する ・保育施設を増やす				
		子どもを見守るコミュニティの関係が希薄化している	子どもを持つ若い世代(新住民)が参加しやすい地域活動を行う	・他団体とも連携して、子ども会活動を活性化する ・若い親や子どもたちと直に話をする ・以前のタウンウォッチングに参加した子どもと意見交換する ・楽しいイベント(カレーパーティやそば打ち大会など)を開く ・外国人との交流を行う				
				多様な世代が交流できる活動を行う	・夏祭りなどの地域の行事に児童・生徒が参加する ・声かけ運動を広げる			
				誰もが暮らしやすい環境の整備が必要である	危険な場所を減らす	・道路沿いや公園の生垣は低木にする(死角をつくらない) ・濡れても滑らないように、点字ブロックを工夫する		
					楽しく過ごせる場所をつくる	・高齢者が散歩しやすい歩道中心のまちにする ・川べりに楽しく散歩できるコースをつくる		
		地域福祉の充実による生き生きとした暮らし	いつでも安心できる体制の整備が必要である	介護保険制度を効果的に活用する	・制度についてPRし、理解を深める ・自分の親の介護ではなく、他人の親を介護するシステムをつくる ・特養を増やす ・グループホームをつくる			
				保健・医療・福祉の横の連携・歩み寄りを深める	・保健・医療・福祉の体制・仕組みについて区民の理解を深める ・行政における教育部局と保健衛生部局の連携を強める			
	地域ぐるみの支援体制を整える		・児童・生徒が福祉施設を訪問する ・若者のボランティアへの参加を促進する ・多様な課題に対応できる相談窓口を生活に身近な範囲でつくる ・町内のお店などを核にして、高齢者などのネットワークをつくる ・子育てを終えた世代の女性の力を活かす ・個人や団体の連携を強める ・ボランティアのコーディネータを育成する ・社会福祉協議会の機能を高める(合併して”きめ細かさ”が低下した) ・子どもや介護の必要な高齢者など、当事者のニーズを確認する					
	高齢者や障害者が生きがいを持てる地域づくりが必要である							
	※まちづくりの重要な視点として追加した。	治安が悪くなっている(安全で安心なまちづくりにはないが、)	犯罪が起きにくいまちをつくる	・街路灯・防犯灯を増設する ・まちの美化活動を行う(きれいなまちには犯罪が少ない) ・違法駐輪などの取り締まりを強化する				
				一人ひとりの防犯意識を高める				
			地域の防犯機能を高める(地域の目や耳が犯罪を未然に防ぐ)	・そろいのユニフォームなどで、楽しくアピールしながら、地域をパトロールする				
			災害やテロなど、多様な危険に対応できる体制づくりが必要である	・危機管理体制・組織を確立する ・中央区の防災計画をつくる				

区の将来像 まちづくりのポイント5：区民の意見に基づく地域に根ざしたまちづくり

- 区民の自主的な活動と連携の積極的な支援によるコミュニティの充実
- 区民と行政の協働の仕組みづくりと協働の実践の機会の創出
- 地域に根ざした従来のきめ細かいサービスの維持・向上と他区との連携による新しいサービスの展開

テーマ	小テーマ	課題	解決の方向性	具体的なアイデア	優先順位 (実現のタイミング)	備考	
「区民の意見に基づく地域に根ざしたまちづくり」	コミュニティの充実	自治会に無関心な住民が増えている(特に新住民、若い世代) ※自治会加入率は9区で最低。	新しい住民と従来からの住民のコミュニケーション(地域活動のきっかけ)をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい住民も含めて、よく機能しているコミュニティをモデルにする ・楽しいイベント(カレーパーティやそば打ち大会など)を開く ・中央区全体でできることを1年に何回も企画する ・駅前ロータリーにステージをつくって野外コンサートやビアガーデンを開く ・自治会活動について知らせる掲示板を増やす ・新住民に対するアンケートを行う ・既存の自治会などによる清掃活動に地域のマンション自治会にも参加してもらう ・活発に活動しているマンション自治会などと既存の地域活動をリンクさせる ・外国人との交流を行う 		部会の勉強会として、区民会議でできる。	
			多様な世代が交流できる活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りなどの地域の行事に児童・生徒が参加する ・児童・生徒が福祉施設を訪問する ・児童・生徒のひとり暮らし老人とのふれあい会食を広げる ・声かけ運動を広げる ・総合的な学習の時間に区民が参加する ・中央公園を運動公園にして、総合スポーツクラブを立ち上げる 			
			地域の人のネットワークをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや区報など、多様な媒体で情報を提供する ・町内のお店などを核にして、高齢者などのネットワークをつくる ・子育てを終えた世代の女性の力を活かす ・地域にいる人材の発見・紹介を行う ・入間川部屋と連携したイベントを行う 		来年度、区民会議で可能か。	
		地域活動が停滞することで失われるものがある	地域で歴史を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に地域の歴史や文化を伝える ・区民が参加できる”七福神巡り”や”氏神様巡り”を行う 		来年度、区民会議で可能か。	
			地域の環境を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティでの清掃活動や美化活動を行う ・地域で不要なポスターや看板などの撤去を行う 			
			区民が集いやすい場所が不足している(合併でコミュニティセンターが確保しにくくなった)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民が集いやすい場所を増やす ・集会所を無料化する ・ケヤキ広場以外に区民が憩える広場を増やす 			
		協働の実践の仕組みづくりと	合併によって行政の存在が遠くなった	区民の意見をきめ細かく取り入れるシステムをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・目安箱を設置する ・インターネットで意見を募る ・区民の意見を集約して、HPや区報などで発表する(言わせっぱなしで放置しない) ・区民会議の中で、区民からの生の声を話題に取り入れる ・公園整備などに区民のアイデアを募集する 	実現決定!	
				地域活動と行政が連携しやすい体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントと行政の行事の日程を調整する 		
		持・サービスの維持・向上と展開					